

市長公約の令和 7 年度(2025年度)進捗状況（集計）

【進捗状況】 実 施：実施済み，または推進中のもの
一部実施：公約の実施に資する一部の取組が行われているもの
検 討 中：実施に向け，検討を行っているもの
※ うち新規等：市長就任後に新規に実施，または拡充して実施のもの

分 野	実施	一部実施	検討中	分野 合計
	うち新規等	うち新規等		
1 子どもたちの 未来を守ります	12	3	2	17
	12	2		14
2 医療，福祉，暮らしを 支えます	43	5	11	59
	26	4		30
3 経済・観光を 再生します	36	5	6	47
	26	4		30
4 文化・スポーツ振興で 未来を育みます	4	4	6	14
	2	2		4
進 捗 状 況 合 計	95	17	25	137
	66	12		78

※公約138項目のうち，「手話言語，障害者コミュニケーション条例の制定」は，再掲分を含め1項目としているため，集計上，“137”となる

市長公約の令和7年度(2025年度)進捗状況

【進捗状況】 実 施 : 実施済み、または推進中のもの（実施とした年度を表記）
 一部実施 : 公約の実施に資する一部の取組が行われているもの（一部実施とした年度を表記）
 検 討 中 : 実施に向け、検討を行っているもの（該当するものに●）
 ※うち新規等 : 市長就任後に新規に実施、または拡充して実施のもの（該当するものに●）

公約項目		実 施	一部実施		検討 中	R 7年度までの取組内容
		うち新規等		うち新規等		
1 子どもたちの未来を守ります						
1 第2子以降の保育料無償化（所得制限なし）	R5	●				R 5 : 既存システムを改修 R 6～：認可保育施設における第2子以降の保育料を完全無償化
2 入学準備のため、新小学校1年生を対象に1人につき10万円支給（所得制限なし）	R5	●				R 5 : システム等を構築 R 6～：小学校に入学した子どもの保護者に対して1人10万円の祝金を支給
3 子ども総合支援センターの整備（0歳から高校生までの悩み不安への相談・支援）	R5	●				R 5 : 子ども家庭センター開設に向けた取組を実施 R 6～：同センターを開設し、児童虐待やヤングケアラーに対する支援体制を強化
4 子ども冒険公園（プレーパーク）の整備					●	R 5 : 関係団体との意見交換等を実施 R 6 : おためしプレーパークを実施 R 7 : プレーリーダー講師を選定したほか、3団体が参画協力
5 児童向け海洋学習・釣り体験・食育の機会拡充	R5	●				[児童向け海洋学習] R 5～：マリンフェスティバルやJAMSTECとの児童生徒向け事業を継続実施 R 6～：小学校での海洋に関するSTEAM教育を実施（R 6：3校、R 7：13校で実施） [釣り体験] R 5～：函館港湾施設（緑の島）での釣り場や釣りイベント会場の提供を継続実施 [食育] R 5～：若い世代への食育実践事業（親子料理教室）や離乳食教室を継続開催
6 学童保育の支援、学童保育料助成の拡充	R5	●				R 5 : 保育料軽減を拡充（月5千円→6千円） R 6 : 冷房装置の設置費用を支援したほか、南茅部地区において新たに放課後児童の預かり事業を実施 R 7 : 放課後児童健全育成事業の実施に関する基本的な考え方を事業者と共有
7 いじめ未然防止対策の強化	R5	●				R 5～：いじめ防止対策審議会を開催したほか、いじめ見逃しゼロリーフレットの配付や子どもの悩み相談電話を継続実施 R 6～：小学校スクールカウンセラーの派遣を拡充（1校あたり年6～8回→年11回）
8 ヤングケアラーとその家族を支える対策の推進	R5	●				R 5 : 実態調査の実施、シンポジウムの開催 R 6 : 講演会や研修会を開催したほか、早期発見のためのチェックリストを盛り込んだ市独自の支援マニュアルを作成 R 7 : 研修会や啓発活動の継続、市内の小・中学校4校を対象に出前講座を実施
9 子どもの体力向上、運動習慣定着促進			R5	●		
①保育園、幼稚園にプレイリーダーの派遣（スポーツクラブと連携）			(R5)	(●)		R 5～：スポーツ指導者資格の取得および派遣への補助を継続実施 R 6～：全施設が幼児期運動指針を念頭に置いた適切な運動遊びを実施している状態を把握
②安全にボール遊びができる地域公園など子どもが安心して遊べる場の創出					(●)	R 5～：関係団体との意見交換の結果を踏まえ、子ども冒険公園（プレーパーク）と併せて内部検討を実施
10 「未来の学び」推進会議の設置					●	R 5～：子ども未来部と教育委員会が未来の学びに一致して執行にあたる体制等について、内部検討を実施
11 公立はこだて未来大学授業料無償化対象の拡大検討 ※北斗市、七飯町と協議する(入学3年前から市内に居住する市民を対象、世帯年収上限を引上げ)	R5	●				R 5 : 関係機関と協議 R 6～：入学時3年前から生計維持者が2市1町（函館市・北斗市・七飯町）に継続して住所を有する学部生（在学を含む）を対象に授業料・入学料を無償化
12 教育DXで誰もが自分らしく学べる環境の整備	R5	●				R 5～：ICT機器等の環境整備やICTサポートセンターの運営、デジタルAIドリルの運用を継続実施 R 6～：英語でデジタル教科書を活用するなど、デジタルコンテンツの本格活用を開始 R 7 : 小・中学校向け保護者連絡ツールtetoruを導入し、欠席連絡を自動化 ICTサポートセンターによる支援から、支援員の訪問による支援体制に重点を置く学校ICT支援事業の実施

市長公約の令和7年度(2025年度)進捗状況

【進捗状況】 実 施 : 実施済み, または推進中のもの(実施とした年度を表記)
 一部実施 : 公約の実施に資する一部の取組が行われているもの(一部実施とした年度を表記)
 検 討 中 : 実施に向け, 検討を行っているもの(該当するものに●)
 ※うち新規等: 市長就任後に新規に実施, または拡充して実施のもの(該当するものに●)

公約項目	実 施 うち新規等	一部実施 うち新規等		検討 中	R 7年度までの取組内容
13 私立学校・私立専修学校への運営助成費を拡充	R5	●			R 5～: 運営助成費を継続支給 (R 5に単価増 生徒3万円/人→4万2千円/人)
14 スクールカウンセラー・特別支援員の増員	R5	●			R 5～: 特別支援教育支援員を増員 (R 5に6名, R 6に8名, R 7に3名増員) R 6～: 小学校スクールカウンセラーの派遣を拡充 (1校あたり年6～8回→年11回)
15 部活動の地域移行の推進, 学校への部活動専門員の派遣			R5	●	R 5 : 部活動のあり方等を協議する協議会の開催, 先進地視察 および児童生徒等へのアンケート調査を実施 R 6 : 合同部活動のモデル事業を2校で実施し, 休日の部活動 地域移行推進計画を策定 R 7 : 本市における地域展開に向けた検討を進めたほか, 合同 部活動を8校で実施し, 地域支援者を延べ39名配置
16 放課後の無料学習支援事業の実施(多様な子どもの居場所づくりの推進)	R5	●			R 5～: アフタースクール運営事業等を継続実施 R 6～: 生活困窮世帯の中学生への学習支援事業の定員を拡大 (定員50名→100名)したほか, 新たに小学生を対象と した町会館等における学習支援や民間商業施設を利用し た中高生学習スペースを提供
17 魅力ある図書館づくりの推進「多世代型の文化交流・創造拠点へ」			R5		R 5～: 地区図書室の活性化を図るため, 住民対象イベントを継 続実施 R 7 : 中央図書館開館20周年記念事業の実施や電子図書館シス テムを導入
2 医療, 福祉, 暮らしを支えます					
18 看護系大学・看護学部設置検討			R6	●	R 5 : 医療機関等へのアンケート調査や市内関係機関等へのヒ アリング, 先進事例調査を実施 R 6 : 外部有識者による検討会議を開催 R 7 : 公立はこだて未来大学(仮称)看護学部設置に向けた函館 市の基本的な考え方を策定
19 带状疱疹ワクチン接種への補助	R7	●			R 5～: R 7助成実施に向け, 他都市の事例調査や関係団体との 協議等を継続【～R 6】 R 7 : 定期接種対象外の50歳・55歳・60歳に対して任意予防接 種の費用を助成(R 7年4月から65歳を対象に国で定期 接種化)
20 南茅部病院新築建て替えの推進	R5	●			R 5 : 基本構想および基本計画を策定 R 6 : 基本設計を実施, 実施設計に着手 R 7 : R 9の開院に向けて, 移転新築工事に着手
21 安心できる地域医療提供体制の構築	R5	●			R 5 : 夜間急病センターにおける小児初期救急の受入移管に向 けた準備を実施 R 6 : 道が策定した地域医療構想の推進に向け, 地域医療構想 調整会議へ参加したほか, 4月に小児初期救急の受入を 市立函館病院へ移管 R 7 : 在宅医療グループ診療体制立ち上げのための規程作成や 医師向けの説明会等を行い, グループ診療を開始 医療・介護・障がい福祉関係者の連携を図るための拠 点を立ち上げ研修会等を実施
22 高齢者交通助成の拡大(年間6000円から1万円に増額) ※高齢者の外出支援, 免許返納促進	R5	●			R 5 : システム変更や市民周知等を実施 R 6～: 高齢者交通料金助成の上限額を6千円から1万円に増額
23 プラチナ世代の人材バンク設立 ※認知症予防, 高齢者の生きがいづくり			R5		R 5～: 在宅福祉ふれあい事業への補助, 介護支援ボランティア ポイント事業を継続実施 さらなるボランティア活動の促進に向けた現状分析等 を実施【～R 6】
24 介護福祉養成校への補助増額など介護人材確保対策の強化	R5	●			R 5～: 介護福祉士人材養成活動への助成のほか, 介護職員等の 研修費用補助, 潜在介護職員等への就労支援や小中学生 を対象とした体験講座等を継続実施 R 6～: 地域定着奨励金を支給 R 7 : 訪問介護等サービス提供体制確保支援事業を実施し, 研 修体制構築や同行支援等に助成
25 福祉法人間連携による研修, 採用の仕組みづくり				●	R 5～: 全国の設置状況や活動状況, 設立に向けた支援の状況等 について調査や情報収集等を実施
26 福祉人材海外研修の実施				●	R 5～: 他団体や市内事業所, 中核市への類似制度の現況調査等 を行いながら, 内部検討を実施

市長公約の令和7年度(2025年度)進捗状況

【進捗状況】 実 施 : 実施済み、または推進中のもの（実施とした年度を表記）
 一部実施 : 公約の実施に資する一部の取組が行われているもの（一部実施とした年度を表記）
 検 討 中 : 実施に向け、検討を行っているもの（該当するものに●）
 ※うち新規等：市長就任後に新規に実施、または拡充して実施のもの（該当するものに●）

公約項目	実 施	一部実施		検討 中	R7年度までの取組内容
		うち新規等	うち新規等		
27 手話言語、障害者コミュニケーション条例の制定	R7	●			R5 : 学識経験者や当事者団体等との懇話会を実施 R6 : 検討委員会を設置し、条例制定について調査・検討 R7 : 函館市手話言語条例および函館市障がい者コミュニケーション条例を制定（R8年3月制定、7月施行）
28 ストップ糖尿病アクションプランの策定・推進	R7	●			R6～: 函館市糖尿病対策アクションプランの策定に向け、関係機関と協議したほか、糖尿病予防に特化した生活習慣改善等のアプローチ事業を実施 R7 : 同プランを策定
29 科学的アプローチで市民の生活習慣改善を推進「健康寿命日本一を目指す」	R5				R5～: 第3次函館市健康増進計画を策定したほか、はこだて市民健康プロジェクトと連携したイベントや企業等の健康経営を推進する普及啓発セミナー等を継続実施
30 がん検診率の向上対策の強化	R5	●			R5～: がん検診無料クーポンの対象に40歳を追加し、継続配付HP・SNS等による情報発信や受診勧奨チラシ配付等を継続実施し、検診の重要性などに関する周知を強化
31 口腔内健康の向上強化	R5	●			R5～: 歯科健診の対象を40歳以上から20歳以上に拡大して継続実施したほか、学校・企業・介護施設等への歯科医師派遣による講話・研修等を継続実施 R7 : 後期高齢者向けの歯科検診や在宅要介護者等の訪問歯科検診を開始したほか、オーラルフレイル予防事業を実施
32 妊産婦に対する保健師等支援強化	R5	●			R5～: マザーズ・サポート・ステーション事業(面談、訪問等)を継続実施したほか、妊娠8カ月頃の妊婦に対する支援体制を強化 R6～: 4月に開設した子ども家庭センターの一部として同事業を実施
33 除排雪の強化（予算の確保、通学路除排雪の強化、GPSやIT活用、持続可能な除排雪体制や雪堆積場の確保など）	R5	●			R5 : GPSを活用した除雪管理システムの他都市の導入事例を調査 R6 : 同システムの試験運用を実施 R7 : 同システムの運用を拡大し、幹線除雪の完了を市HPにおいて公開
34 街路灯整備の町会負担分の無償化			R5	●	R5 : 街路灯設置の補助上限額の引き上げに向けて制度を改正 R6～: 上限額を引き上げるとともに、街路灯に係る町会の負担軽減の手法について内部検討を実施
35 町会アドバイザーの全国公募と若者加入の促進				●	R5 : 町会アドバイザーの活用に向けた内部検討を実施 R6 : 若年世代の関心を高めることをテーマとした町会活性化モデル事業を実施したほか、SNS活用によるPRを継続実施 R7 : はこだて未来大学と連携し、若者の町会活動への参画促進のため、町会デジタル化未来プロジェクトを実施
36 老朽化している市道の整備推進	R5	●			R5～: 市道の路面性状調査の検討および実施【～R6】 R7 : 同調査結果をもとに函館市舗装長寿命化修繕計画を策定し、事業費が平準化するよう年次計画を策定
37 空き家、空き室の活用対策と高齢者に対する住宅の確保・支援	R5				R5～: 函館市居住支援協議会による実態調査を踏まえ、住宅確保要配慮者と対応可能な民間賃貸住宅をつなぐ枠組みを検討 高齢者等の各種相談窓口での住宅の確保・支援に関する情報提供・相談対応のほか、空家等の改修支援補助制度を継続実施
38 歴史的建造物の保存強化と所有者への支援充実	R5	●			R5～: 歴史的建造物等の保存・保全や活用への補助を継続実施 R6～: 保全調査・所有者アンケートによる状況把握 R7 : 歴史的建造物活用促進事業補助金を開始
39 過疎地や高齢者の足となる公共交通機関の支援	R5	●			R5～: バスの赤字路線に対する支援や公共交通運転手確保のための就職相談会を継続実施したほか、地域公共交通計画を策定し、同計画に基づく各種取組を検討 R6 : 二種免許取得に係る補助制度を創設 西部地区におけるAIデマンド交通の実証運行を実施 R7 : AIデマンド交通の実証運行(2回目)や般法華地域公共ライドシェア事業の検討
40 近隣に公衆浴場の無い公営住宅の問題解決に努める	R5	●			R5～: 湯川団地に隣接する廃棄した公衆浴場の市直営での運営を継続
41 小規模公衆浴場の運営支援の強化	R5	●			R5 : 光熱費や設備改修費等への補助上限額を引き上げ

市長公約の令和7年度(2025年度)進捗状況

【進捗状況】 実 施 : 実施済み、または推進中のもの（実施とした年度を表記）
 一部実施 : 公約の実施に資する一部の取組が行われているもの（一部実施とした年度を表記）
 検 討 中 : 実施に向け、検討を行っているもの（該当するものに●）
 ※うち新規等：市長就任後に新規に実施、または拡充して実施のもの（該当するものに●）

公約項目	実 施		一部実施		検 討 中	R 7年度までの取組内容
	うち新規等		うち新規等			
42 動物愛護センターの誘致推進、動物愛護団体への支援拡充	R5	●				R 5 : 動物愛護管理センターの運用開始に向け、道等と協議 R 6～: 11月から道との協力・連携による同センターの運用を開始したほか、関係機関等との意見交換を実施
43 結婚支援の推進（出会いの場サポート事業）					●	R 5～: 事業実施に向け、他都市の事例調査等を実施 R 7 : 若者の出会いや結婚の意識についての実態調査を実施
44 ライフプラン相談センターの設置					●	
45 市の各種手続き・サービスのデジタル化を実施、デジタルファースト条例の制定			R5	●		R 5 : 函館市デジタル変革推進ビジョンを策定したほか、函館市公式LINEのリニューアル、オンライン申請可能な手続きを拡充 R 6 : 函館市デジタル変革推進プラットフォームを設置し、官民共同で地域課題の解決に取り組む体制を構築したほか、子育てに係るオンラインサービスの充実やオンライン申請可能な手続きを拡充 R 7 : 函館市デジタル変革推進本部会議に最高AI責任者および補佐官を設置し、デジタル避難訓練等を実施
46 市の各部署が市民、事業者の要望をくみ取り、市政運営に活かす仕組みづくり	R5	●				R 5～: 市民の声の継続実施や各種団体・学生との懇談の場を設定し、要望・意見等を把握するとともに、各部署が市民等から様々な声を拾い上げ、各種施策づくりの参考にすることについて、通知文書や広報連絡会議の場を活用して周知
47 国際緊急災害支援の拠点都市形成					●	R 5～: 国における災害時等の船舶を活用した医療供給体制の整備の検討状況に係る情報収集を実施
48 市長直轄の危機管理監を設置、初動体制の強化	R5	●				R 5 : 組織体制の整理 R 6 : 危機管理監を配置し、各種計画の改訂や準備作業を実施したほか、関係部局会議を開催するなど、災害対応の初動体制を確認 R 7 : 危機管理方針を策定したほか、大雨災害の復旧方針の決定や津波災害における初動体制の強化を実施
49 災害時要支援者個別避難計画の作成促進	R5	●				R 5～: 個別避難計画の作成を実施したほか、避難行動要支援者名簿システムを改修
50 消防団員の待遇改善、定数確保	R5					R 5～: ポスターやチラシ、SNS等による入団促進運動を継続実施したほか、訓練体験会を実施 協力事業所に対する優遇措置制度の検討を継続実施 R 7 : 協力事業所制度周知のため、事業所訪問を強化
51 救急車等の緊急車両の整備推進	R5					R 5～: 消防車・救急車等の計画的な更新を継続実施
52 老朽化した水道管の更新計画の策定	R5					R 5～: 第2期老朽管更新計画および函館市上下水道事業経営ビジョンに基づく計画的な整備を継続実施
53 危険な老朽家屋の解体の推進	R5					R 5～: 空家等の実態調査を実施 空家等の除却支援補助制度や所有者不明土地建物管理制度等を活用した特定空家等の解消に向けた取組を継続実施
54 児童公園等の遊具の定期点検強化と整備	R5					R 5～: 遊具等施設の点検・修繕のほか、函館市公園施設長寿命化計画に基づく改築・更新を継続実施
55 事故、暴力、犯罪、自殺などに対し、多機関と住民が協働する「セーフコミュニティ」の形成					●	R 5～: 他都市のセーフコミュニティ認証の取得状況等を調査
56 犯罪被害者支援条例の制定					●	R 5～: 他自治体の取組状況や国や道の検討状況について調査するとともに内部検討を継続実施【～R 6】 R 7 : 中核市等の条例制定状況等の調査や条例制定に向けた警察・支援団体との意見交換を実施
57 再犯防止計画の策定と対策の実施	R5					R 5～: 函館地区保護司会事業への補助金および更生保護法人函館創生会への負担金を継続 R 6 : 第4次函館市地域福祉計画の記載内容を見直し、地方再犯防止推進計画である旨を明記
58 大間原発建設凍結に向けた建設差し止め訴訟の取組	R5					R 5～: 訴訟を継続実施

市長公約の令和7年度(2025年度)進捗状況

【進捗状況】 実 施 : 実施済み, または推進中のもの(実施とした年度を表記)
 一部実施 : 公約の実施に資する一部の取組が行われているもの(一部実施とした年度を表記)
 検 討 中 : 実施に向け, 検討を行っているもの(該当するものに●)
 ※うち新規等: 市長就任後に新規に実施, または拡充して実施のもの(該当するものに●)

公約項目	実 施		一部実施		検討 中	R7年度までの取組内容
	うち新規等		うち新規等			
59 女性とともに未来100人委員会の設置(市長が女性の意見を聞き, 市政に反映)			R5	●		R5～: 市長と女性の意見交換会を開催【～R6】 (R5: 2回, R6: 3回開催) R7: ジェンダーギャップ解消関連事業における働く女性を対象とした意見交換会等により意見を収集し, 要旨を取りまとめ, 市HPで周知
60 女性の社会活動や地域貢献に関する実態調査と, その支援					●	R5～: 内部検討を実施 R7: 第4次男女共同参画基本計画の策定に先立って行う市民・事業者意識調査のR8実施に向けて検討を実施
61 性別に関わらず, 誰もが働きやすい職場環境づくり	R5	●				R5～: ワーク・ライフ・バランスアドバイザーおよびLGBTフレンドリー企業推進アドバイザーを企業へ継続派遣 R7: 函館市ジェンダーギャップ解消プロジェクトを発足し, 企業・学生向けセミナーや働く女性向け意見交換会を実施
62 女性の雇用や再就職支援, 相談機能の充実	R5					R5～: 女性等の雇用促進を図る企業向けセミナーや女性等の潜在人材掘り起こしに向けた就職基礎講座, 企業とのマッチングイベント等を継続実施 R6: 働き方に関する市民調査を実施
63 男性の育児休業取得の促進	R5					R5～: 市HPや子育てアプリ等により, 企業や父親へ制度を継続周知 R6: 市HPをリニューアル
64 えるぼし取得の促進(女性活躍推進優良企業に対する厚労省の認定制度)	R5					R5～: 市HP等により, 企業へ制度を継続周知 R6: 市HPをリニューアル
65 性暴力被害者相談窓口の充実	R5	●				R5～: 性暴力被害者支援や保護・自立援助を要する女性の相談体制を継続確保 R7: 函館・道南SART(性暴力対策チーム)対応マニュアルを改訂し, 道南地域の290医療機関に配付
66 性犯罪・性被害・DVの予防に向けた取組の充実	R5					R5～: CAP(子どもへの暴力防止)プログラムの活用による予防教育として, 希望する中学校でデートDV教室の講座を実施
67 「生理の貧困」対策の推進	R5					R5～: 女性つながりサポート事業における相談を実施したほか, 生理用品を継続提供
68 市役所管理職の女性登用率の向上	R5					R5～: 女性職員向けの研修や研修機関への女性職員の派遣, 多様な部門への女性職員の配置を継続実施
69 バリアフリー構想の策定・推進					●	R5～: 内部検討を継続実施
70 障害者雇用の促進(企業へのアドバイザー派遣, 発達障害等への理解促進)	R5	●				R5～: 障がい者の雇用促進を図るセミナーや理解促進を図る事業者等への研修会を継続実施 R6～: 重度障がい者等就労支援特別事業を実施
71 インクルーシブ教育の推進	R5					R5～: 教員向け研修を実施 R6～: 特別支援教育支援員および巡回指導員を増員(R6: 支援員8名・巡回指導員2名, R7: 支援員3名増員)
72 精神障害に関する地域包括ケアシステムの推進					●	R5～: 地域包括ケアシステムのあり方について, 内部検討を実施
73 性の多様性に対する理解促進, パートナリシップ宣誓制度導入自治体との連携	R5	●				R5～: LGBTフレンドリー企業推進アドバイザーの企業への派遣や市民・企業向け周知啓発イベントを継続実施したほか, パートナリシップ宣誓制度導入自治体と連携 R7: 道内外で300以上の自治体が加入する同制度の自治体間連携ネットワークに加入
74 多文化共生意識の啓発, コミュニケーション支援の充実	R5	●				R5～: 外国人住民と市民の交流行事の継続実施や多言語音声翻訳サービスを配置 R6～: 新たに市民を対象とした共生フェスを実施
75 障害者アートまちなか美術館の開催, 障害者芸術文化活動の拠点づくりの推進	R5					R5～: 授産製品の販売促進を図るため, 障がい者作品展の開催を継続したほか, 障がいのある方が作成したアール・ブリュット等の作品を発表する機会を提供
76 障害者が気軽にスポーツを楽しめる環境の整備, 指導者の育成・支援	R5	●				R5～: 身体障がい者がスポーツを体験できる場として, 車椅子バスケットボール等のスポーツ教室やはこだて市民健康大学のイベント内で体験イベントを開催 R6: 北海道みらい運動会を開催 R7: 北海道障がい者スポーツ大会を開催

市長公約の令和7年度(2025年度)進捗状況

【進捗状況】 実 施 : 実施済み, または推進中のもの(実施とした年度を表記)
 一部実施 : 公約の実施に資する一部の取組が行われているもの(一部実施とした年度を表記)
 検 討 中 : 実施に向け, 検討を行っているもの(該当するものに●)
 ※うち新規等: 市長就任後に新規に実施, または拡充して実施のもの(該当するものに●)

公約項目	実 施		一部実施		検討 中	R 7年度までの取組内容
		うち新規等		うち新規等		
3 経済・観光を再生します						
77 根付魚種の放流事業・養殖事業の充実・拡大、北大および水産試験場との連携強化（コンブ、ウニ、アワビ、タコ、カレイ等）	R5	●				R 5 : 生育不良ウニの畜養試験を実施 R 5～：キングサーモン・コンブの完全養殖技術研究や天然コンブの繁殖技術研究等を継続実施 R 7 : 沖合でのトラウトサーモン海面養殖の生け簀整備補助を実施
78 磯焼け対策の推進	R5	●				R 5～：雑海藻やウニの駆除、天然コンブ繁殖対策等への補助や藻場の保全等の活動を行う協議会への負担金支出を継続実施したほか、天然コンブの資源回復のため藻場投石やウニの密度管理等を実施 北海道による漁場整備事業への市負担分を支出
79 投石等による藻場や産卵礁の整備、資源の確保	R5	●				
80 イカ、マグロ等の漁船漁業への支援強化	R5	●				R 5～：小型イカ釣り漁業の出漁を支援する補助を継続実施 R 6～：対象期間を延長（10月末まで→1月末まで）
81 河川整備・植林拡大 ※汚泥の流出を削減し、海の環境を守る	R5					R 5～：河川浚渫工事による治水対策や治山事業の継続実施
82 漁協との連携を強化し、就業人口・所得の拡大に取り組む	R5	●				R 5～：漁業に必要な資格取得費の一部への補助を継続実施 R 6～：漁業就業支援フェア（札幌）への参加 R 7 : 漁業就業体験の受講費用を支援
83 未利用水産資源の活用研究	R5	●				R 5 : ブルーカーボンの活用に向け、関係機関等と協議 R 6 : モデル地区におけるCO2吸収量調査を実施し、クレジット認証を取得 R 7 : モデル地区におけるクレジットの公募等を実施 事業の普及・意識啓発活動およびクレジット取得企業との連携強化を実施
84 ビニールハウス栽培への支援を強化し、通常出荷体制を拡大・充実	R5					R 5～：農作物の荷受け設備等の整備補助や農業用機械等の購入資金の貸付を継続実施 R 7 : スマート農業技術の活用を支援
85 農協との連携を強化し、就業人口・所得の拡大に取り組む	R5	●				R 5～：新規就農者への継続補助や農業法人の参入促進を実施したほか、農業法人参入フェア（東京）へ参加 グリーン・ツーリズムの推進に向け、モニターツアー等を実施 R 6 : グリーン・ツーリズムのツアー商品の造成等を実施したほか、農地の集積等による生産性向上を図るため、地域計画を策定 R 7 : グリーン・ツーリズムの運営組織の会社形態や出資者構成等の検討
86 肥料の高騰に対する支援強化	R5	●				R 5～：肥料の価格上昇分の一部補助を実施【～R 6】
87 山林の整備（植林、下刈、枝打ち等）に対する支援を充実し、美しい山を創る	R5	●				R 5～：私有林の適正管理への補助を継続実施したほか、未整備森林の所有者に対して森林経営計画への参加を打診 R 7 : 未整備森林の所有者に対する新規補助制度を創設 林業研修生のインターンシップに係る宿泊費の一部を助成
88 間伐材の利用促進	R5					R 5～：間伐材を含めた地域材について、公共工事での利用や木育工作教室の開催等の利用促進に向けた取組を継続実施
89 自然エネルギーコミュニティ構想の策定・推進（北海道と連携し、再エネ導入、電力地産地消を推進）			R5	●		R 5～：エコフェスタ等でのパネル展示やワークショップを通じた再生可能エネルギーの普及啓発や太陽光発電システム等の導入への補助を継続実施 R 6～：エネルギー地産地消の実現に向けた検討を実施 R 7 : 再生可能エネルギー発電施設の設置および管理に関するガイドラインを策定 廃棄物処理施設から近隣の公共施設へ電力を供給する自営線の実施設計を実施
90 オール函館体制によるスタートアップ支援の強化	R5					R 5～：創業支援として、函館地域産業振興財団との共催により事業費用の助成やセミナー・相談事業等を継続実施したほか、若者の創業を促進する学生向けセミナーや起業体験プログラム等を実施
91 Society5.0に対応した人材育成と大学発ベンチャー創出支援	R5					R 5～：未来のIT人材育成のため、ロボット教室やプログラミングコンテスト等を継続実施

市長公約の令和7年度(2025年度)進捗状況

【進捗状況】 実 施 : 実施済み, または推進中のもの(実施とした年度を表記)
 一部実施 : 公約の実施に資する一部の取組が行われているもの(一部実施とした年度を表記)
 検 討 中 : 実施に向け, 検討を行っているもの(該当するものに●)
 ※うち新規等: 市長就任後に新規に実施, または拡充して実施のもの(該当するものに●)

公約項目	実 施		一部実施		検討中	R7年度までの取組内容
		うち新規等		うち新規等		
92 交通アクセス, 人材養成, 都市ブランドを活かした企業誘致の強化	R5	●				R5～: 企業訪問や誘致イベントへの参加, オンラインでの面談等における企業誘致活動を実施 企業立地に係る設備投資への補助を継続実施したほか, 立地環境の調査に係る視察費用やサテライトオフィス等の開設・運営に係る経費を補助 R7 : 工場賃借料を対象に追加するなど企業立地に係る設備投資への補助を拡充
93 臨港地区の土地利用規制の緩和と活性化					●	R5～: 内部検討を実施
94 ふるさと納税を活用した産業振興とシティプロモーション (4年後の目標: 年間寄付額100億円)	R5	●				R5～: ポータルサイトの新規開設やシティプロモーション, 各種宣伝広告の充実等のPR強化を行ったほか, 外部事業者への業務の包括委託や市内事業者向けの勉強会等を実施し, 返礼品開発を促進
95 中小企業振興基本条例の実効性向上(中小企業活性化戦略の策定・推進)	R7	●				R5～: 函館市経済振興プラン策定に向け, 中小企業振興審議会の開催や地域経済の実態調査を実施したほか, 関係団体への意見募集を実施【～R6】 R7 : 同プランを成案化し, 経済団体等へ周知
96 販路拡大支援の強化と新たな地域ブランド形成	R5	●				R5～: 函館産農水産物のPRとして, グルメワンダーパーク函館や道外開催の食関連イベントへの出展, 料理教室の開催, 函館いか祭りへの参画等に継続して取り組んだほか, 海外販路の拡大に資する展示商談会等の参加経費やEC導入費を補助 R6～: 新たな特産品開発に対して補助
97 生鮮食料安定供給の基幹インフラである水産物および青果物地方卸売市場の機能強化に向けた取組の推進	R5	●				R5～: 水産物・青果物地方卸売市場の改良工事や維持補修に係る緊急工事の継続実施 R6～: 認知度向上などのため, 水産物地方卸売市場における動画制作・公開を実施 R7 : 認知度向上などのため, 青果物地方卸売市場における動画制作・公開を実施
98 人口減少・少子高齢化に対応した雇用・労働政策の着実な推進	R5	●				R5～: 大手就職情報サイトで市内企業の採用情報やインターンシップ受入情報を継続発信したほか, 高校生の仕事体験を通じて市内企業の魅力を伝えるしごとフェスタ等を継続実施 R6～: 奨学金返還支援制度を実施したほか, 道内企業に就職し函館移住の意思がある東京圏の学生の就職活動に要する交通費支援制度を創設 R7 : ポータルサイトに多様な働き方に関する特設ページを開設
99 DX人材リスキリング支援(デジタルスキル研修支援)の実施	R5					R5～: 市内中小企業等におけるDX推進のため, 普及啓発セミナーや専門家派遣・設備導入補助, 伴走型支援事業等を実施
100 ふるさとの職場を知る教育の実施 ※一旦地元を離れてもやがて戻ってくる人材サイクルの構築	R5					R5～: 職場体験を実施できる事業所等を市HPに継続掲載
101 移住支援金の独自上乗せ支給の実施, 移住担当の専任セクションを新設	R5	●				R5～: 移住支援金の継続支給, 移住フェア等のイベントへの継続出展 R6～: 移住・人口減担当を設置し, 移住支援金の対象要件を拡充したほか, お試し移住事業を開始し, 移住サポーターを設置 R7 : テレワーク移住の可能性を探るため東京圏の勤務者を対象としたニーズ調査を実施

市長公約の令和7年度(2025年度)進捗状況

【進捗状況】 実 施 : 実施済み, または推進中のもの(実施とした年度を表記)
 一部実施 : 公約の実施に資する一部の取組が行われているもの(一部実施とした年度を表記)
 検 討 中 : 実施に向け, 検討を行っているもの(該当するものに●)
 ※うち新規等: 市長就任後に新規に実施, または拡充して実施のもの(該当するものに●)

公約項目	実 施		一部実施		検 討 中	R 7年度までの取組内容
	うち新規等		うち新規等			
102 域内経済循環と地産地消の推進			R5	●		
①事業の地元優先発注の拡大			(R5)	(●)		R 5～: 地元優先発注に係る各部局への周知啓発を実施 R 6～: 工事関連の一部業務委託において, 地元外企業も含めた発注から地元企業限定とする発注基準の見直しを実施 R 7 : 工事関連の一部業務委託において, 地元企業限定とする入札を執行
②はこだてグリーンプラザに地産地消カフェストリートを整備					(●)	R 6 : 第2期の都市再生整備計画に, グリーンプラザ内における賑わい創出に繋がる整備とするための実証実験を登載 R 7 : 同計画にグリーンプラザ活用促進社会事業とグリーンプラザ整備の2事業を登載
③地元の市場・商店街での回遊型ショッピング, ブランド力向上など市場・商店街の魅力発信・活性化	(R5)	(●)				R 5～: 商店街支援策としてイベント・空き店舗の活用や商業機能を強化したほか, 中心市街地の賑わい創出として五稜郭まちなかフェスティバルを継続実施 R 6～: イメージアップの取組を対象に追加し補助を継続実施したほか, 五稜郭まちなかフェスティバルの開催期間を延長して実施
④地元食材活用促進キャンペーン等による消費行動変容の促進	(R5)					R 5～: はこだてフードフェスタを継続実施したほか, 函館産農水産物のPRとして, グルメワンダーパーク函館や道外開催の食関連イベントへの出展のほか, 料理教室の開催, 函館いか祭りへの参画等の取組を継続
⑤街なかファーマーズマーケットの開催			(R5)			R 5～: 函館産農水産物のPRとして, グルメワンダーパーク函館等の食関連イベントへの出展や函館いか祭りへの参画等の取組を継続
103 観光地域づくり法人(DMO)の設立, 「観光地経営」の視点に立った戦略的な観光施策の推進					●	R 5～: 内部検討を継続実施
104 観光消費額の増大(観光客1人当たり消費額の倍増を目指す)	R5	●				R 5 : 欧米向けインバウンドの動向調査等を実施 R 5～: コンベンションの誘致活動やMICEの誘致商談会等へ継続参加したほか, 各種会議等の誘致等の各種補助を継続実施 R 6～: イーストジャパン・キャンペーンの協議会を設立し, 旅行商品の造成等を行ったほか, 中国富裕層向けのプロモーションや米国旅行者を誘致するプロモーションを実施
105 観光競争力強化プログラム(3年スパン)の新規策定	R5	●				R 5 : 新たな観光基本計画を策定 R 6～: 観光基本計画に基づく施策を実施
106 「Yakeiプロジェクト」を推進 ※函館夜景の魅力向上と海外への発信強化	R5	●				R 5 : 山頂展望台の魅力向上や混雑緩和に向け, 現状把握や他都市の先行事例調査等を実施 R 6～: 実証実験等の実施および混雑状況配信システムの運用を開始 イーストジャパン・キャンペーンにおいてYakeiを活用した商品の造成・販売
107 ラグジュアリーツーリズム(富裕層向け観光施策)の推進	R5	●				R 5 : 中国富裕層向け観光コンテンツの造成やモニターツアー等を実施 R 6 : 中国現地でのセミナー開催等, 中国富裕層向けのプロモーションを実施 R 7 : 観光事業者との意見交換会を経て, ラグジュアリーツーリズムに関するコンテンツ・モデルコースを造成
108 縄文文化や遺跡群のPR活動を充実・拡大し, 世界へ発信	R5					R 5～: イベントの継続開催のほか, 拠点施設の誘致推進に向けた活動を実施 縄文遺跡群等への定期観光バス運行を目指した実証実験を実施 R 7 : 国宝土偶発見50周年記念事業および関連イベントを実施
109 「海」を活かした観光振興(マリレジャー・コンテンツ開発, フィッシングツーリズム)					●	R 5～: 内部検討を継続実施
110 「食の都・函館」のブランド構築・発信強化	R5	●				R 5～: 食のポータルサイトにおける特集記事の作成等, 掲載情報の充実やSNSフォローアップキャンペーンを実施
111 欧米向けプロモーションの強化	R5	●				R 5 : 欧米インバウンド動向調査等を実施 R 6～: 米国旅行博の出展や米国観光商談会への出席等, 米国旅行者を誘致するプロモーションを実施

市長公約の令和7年度(2025年度)進捗状況

【進捗状況】 実 施 : 実施済み, または推進中のもの(実施とした年度を表記)
 一部実施 : 公約の実施に資する一部の取組が行われているもの(一部実施とした年度を表記)
 検 討 中 : 実施に向け, 検討を行っているもの(該当するものに●)
 ※うち新規等: 市長就任後に新規に実施, または拡充して実施のもの(該当するものに●)

公約項目	実 施		一部実施		検 討 中	R 7年度までの取組内容
		うち新規等		うち新規等		
112 北関東・東北地方と連携し, 外国人観光客を東京から北に向かわせる「イーストジャパン・キャンペーン」の実施	R5	●				R 6 ~ : 4月にイーストジャパン・キャンペーンの協議会を設立したほか, 旅行商品の造成・販売等を実施 R 7 : 米国人インフルエンサーの招聘や米国およびシンガポールでのプロモーション等を実施
113 札幌・千歳から函館までの「大半島」広域観光連携の推進			R6	●		R 6 ~ : 関係自治体等へヒアリングを実施し, 本市を含めた13自治体で構成される情報交換会において, 宿泊税等に関する情報交換を実施 R 7 : ニセコエリアからの冬季誘客を目指して倶知安町・ニセコ町等を訪問し, インバウンドの市場調査を実施
114 観光人材の育成(ガイド養成強化)	R5	●				R 5 ~ : アドベンチャートラベル(AT)普及促進のための事業者交流会や人材育成を図るAT体験会等を実施したほか, 野外災害救急資格取得講習会等を実施【~R 6】 R 7 : 道南ATパンフレットを日本語・英語で作成したほか, 北海道観光機構と連携してガイド人材確保のためのセミナーや研修会等を実施
115 集客力のあるイベント開催(アートをテーマにした秋季イベント, 新たな冬季集客イベントの創設)			R5			R 5 ~ : グルメワンダーパーク函館やMOMI-Gフェスタ, はこだてクリスマスファンタジー等を継続開催したほか, アート誘客イベントの検討や冬季誘客イベントの創出を検討 R 7 : MOMI-Gフェスタでカラーライトを試験的に導入 既存の冬季イベントの見直しに向け関係者間で協議
116 活火山「恵山」エリアの観光魅力づくり(灯台利活用, ランニング・自転車イベントの開催検討)	R5					R 5 ~ : 灯台ホリデイ in 恵山岬灯台公園の情報発信等, 後方支援を実施 どうなん海道サイクルルートのマップを作成 R 6 : 外国人受入体制の整備に向けたニーズ把握を検討 R 7 : 同サイクルルートへ注意喚起の矢羽根マークを表示
117 朝の観光コンテンツづくりとナイトタイムエコノミーの推進			R5	●		R 5 ~ : ナイトタイムエコノミー推進に向け関係団体と協議したほか, 夜間のにぎわい創出のため, はこだてグリーンプラザのイルミネーション(はこだてルミポップ)を継続実施【~R 6】 R 6 : イーストジャパン・キャンペーンにおいて, Yakeiやスナックなどを活用した商品を造成・販売 R 7 : 早朝コンテンツ(函館スルメイカの競り見学)およびナイトタイムコンテンツ(スナックキャストと巡る五稜郭ナイト)の2ツアーを造成・販売支援したほか, 夜間観光におけるアンケート調査を実施
118 ユニバーサルツーリズム(高齢, 障害の有無にかかわらず誰もが参加できる旅行)の推進, 道内ネットワークの拠点形成					●	R 5 : 効果的な情報発信手法等を継続検討したほか, 他都市の先行事例等を調査 R 6 : バリアフリーノウハウ習得セミナーへ参加 R 7 : R 8事業開始に向け, 関係者との協議や検討を実施
119 新幹線の現函館駅乗入れに関する調査の実施	R5	●				R 5 : 調査を実施し, 結果を公表 R 6 : 現函館駅乗入れに関する調査結果について市民フォーラムを開催 R 7 : 関係機関との協議を継続実施
120 道内外の新規航空路線の充実, 海外路線ネットワークの拡大(アジアからのゲートウェイに)	R5	●				R 5 ~ : 市民等への就航路線のPRや函館線就航地でのPR, 随時の海外プロモーションによる函館線のPRを継続実施 (R 5 : 香港線季節運航, 台北線就航 R 7 : 仁川線就航 ※R 8年6月から運休) R 6 ~ : 空港業務に従事する人材確保を支援するため, 函館空港お仕事フェスタを開催
121 函館空港の優位性を活かした周辺地域の活性化					●	R 5 ~ : 内部検討を継続実施
122 縦貫自動車道, 函館・江差自動車道, 新外環状道路(古川道路), 松前半島道路, 尾札部道路等広域道路網の整備促進・早期着手・調査促進(国への要望)	R5					R 5 ~ : 市・市議会合同要望, 渡島総合開発期成会, 北海道縦貫自動車道建設促進道南地方期成会等の道路4期成会により, 国等への要望活動を継続実施
123 高速道路整備促進の担当部門を設置					●	R 5 ~ : 内部検討を継続実施

市長公約の令和7年度(2025年度)進捗状況

【進捗状況】 実 施 : 実施済み, または推進中のもの (実施とした年度を表記)
 一部実施 : 公約の実施に資する一部の取組が行われているもの (一部実施とした年度を表記)
 検 討 中 : 実施に向け, 検討を行っているもの (該当するものに●)
 ※うち新規等 : 市長就任後に新規に実施, または拡充して実施のもの (該当するものに●)

公約項目		実 施		一部実施		検討 中	R 7年度までの取組内容
		うち新規等		うち新規等			
4 文化・スポーツ振興で未来を育みます							
124	国際文化芸術創造都市ビジョン策定・推進 （まちが舞台となる劇場都市の形成）					●	R 5～：内部検討を継続実施
125	「五稜郭とその関連施設群」の世界遺産登録を目指す活動の推進と機運の醸成					●	R 5～：内部検討を継続実施
126	伝統的建造物など歴史資源を活かしたまちづくりの推進，都市ブランドの構築	R5	●				R 5～：西部地区における景観形成を図る住宅等に対する建築奨励金および函館市西部地区再整備事業を継続実施 R 6～：歴史的町並みの活用に向け，景観フォーラムを実施
127	総合ミュージアムの開設					●	R 5～：内部検討を実施 R 6：（仮称）総合ミュージアムの整備にあたっての基本的な考え方を成案化
128	「函館・文化の日」の制定					●	R 5～：函館市民文化祭や文化フォーラム等の文化芸術事業の実施を通して市民が文化に親しむ機会を増やし，文化のまち函館の機運を醸成
129	ワールド・アーティスト・イン・レジデンス（海外・国内アーティストの招聘・滞在・交流事業の推進）	R5					R 5～：アーティストインレジデンスとして国内アーティストを継続招聘したほか，はこだて国際民俗芸術祭開催に係る補助金を継続支出
130	地域文化資産を活用した文化事業への支援（地域活性化につなげる）			R5			R 5～：函館野外劇や歴史的建造物等を活用した文化活動等を継続支援
131	文化・スポーツを所管する市長部局を新設，各種文化スポーツ団体との連携・支援強化			R5	●		〔市長部局新設〕 R 5～：内部検討を継続実施 〔文化スポーツ団体との連携・支援強化〕 R 5：文化芸術団体の活動を支援する補助金を創設 R 5～：スポーツ団体や文化芸術団体への支援を継続実施
132	スポーツコミッションの新設（大会・合宿誘致，スポーツツーリズムの人材育成，スポーツ・健康のまちづくりの推進）					●	R 5～：内部検討を継続実施
133	海に親しむ文化の醸成とマリトレジャーの普及・振興（サーフィン，フィッシング，ビーチイベント等）	R5					R 5：アーバンスポーツ，ニュースポーツ等の競技ごとに懇談会を実施し，普及振興策についての意見を収集 R 6～：入舟海水浴場を継続開設したほか，サーフィン等のマリトレジャー体験会開催等への後方支援を実施
134	スケートボード，スポーツクライミング等アーバンスポーツの普及，振興	R5	●				R 5～：アーバンスポーツ，ニュースポーツ等の競技ごとに懇談会を実施し，普及振興策についての意見を収集したほか，はこだて市民健康大学のイベント内で，すべての市民がスポーツに親しめるアーバンスポーツ等の体験イベントを開催 R 7：スケートボードエリアを暫定設置したほか，利用者を対象にアンケートを実施し，課題等を調査
135	スポーツクラブ等との連携強化と部活動の地域移行の推進			R5	●		R 5：部活動のあり方等を協議する協議会の開催，先進地視察および児童生徒等へのアンケート調査を実施 R 6：合同部活動のモデル事業を2校で実施し，休日の部活動地域移行推進計画を策定 R 7：本市における地域展開に向けた検討を進めたほか，合同部活動を8校で実施し，地域支援者を延べ39名配置
136	デジタル技術を活用した外出困難者のスポーツ参加機会の確保					●	R 5～：内部検討を継続実施
137	産学官連携によるeスポーツ振興プロジェクトの推進（体験拠点整備）			R5			R 5～：eスポーツを活用したIT人材の育成を継続実施